

# - 平成25年度に実施した主な事業 -

## 子どもを守り育てるまち

**児童・児童扶養手当** 9億2,619万円(民生費)

**特定不妊治療費助成金** 302万円(衛生費)

特定不妊治療を実施した夫婦に対し、医療費の助成を行いました。

**細江小学校校舎建設** 1億4,549万円(教育費)

教室不足や狭い図書室といった教育環境の改善を図るために、校舎を増築しました。また増築に併せて外階段を設置し、地域住民の避難施設としての機能強化を図りました。

**こども医療費助成金の拡充** 1億1,368万円(民生費)

小中学生の通院に係る医療費助成を継続し、中学生にも受給者証を交付することで利用者の利便性を高めました。

**特別支援教育の推進** 1,941万円(教育費)

教員補助員の配置、適応指導教室の充実を図り、きめ細かな教育を行いました。



▲教育環境の改善



▲子育てをサポート

## 環境に配慮したまち

**広域施設組合負担金(ごみ、し尿)** 8億7,868万円(衛生費)

**資源回収奨励金** 191万円(衛生費)

ごみ減量化・リサイクル推進活動として「雑紙減量大作戦」を推進し、古紙等資源回収実施団体へ奨励金を交付しました。

**浄化槽設置補助金** 4,729万円(衛生費)

生活排水による公共水域の水質汚濁防止や公衆衛生の向上、生活環境の保全のため、合併浄化槽の設置に対し補助を行いました。

**エネルギータウン構想策定** 473万円(衛生費)

震災時に対応する自然再生エネルギーと浜岡原発停止後の代替エネルギーを検証するため、「地域新エネルギービジョン」、「地域エネルギー詳細ビジョン」、「バイオマスタウン構想」を再考察し、新たに「エネルギータウン構想」を策定しました。



▲大切な資源をごみにしない



▲エネルギーの検証を進める

## 効率的な行政経営

**財政調整基金・減債基金積立金** 5億8,339万円(総務費)

**庁舎施設管理** 8,469万円(総務費)

**地域の絆づくり** 272万円(総務費)

相良、萩間、牧之原の3地区で、地域の課題を解決するための地区まちづくり計画を策定しました。

**あおぞら保育園引継保育** 1,518万円(民生費)

静波保育園に続いて指定管理へ移行するため、園児に対し、急激な環境変化が生じないように1年間、市の保育士と指定管理者との合同保育を行いました。



▲公共施設の維持管理



▲地域のつながりを深める話し合い

## 安全安心に暮らせるまち

**自主運行バス運営** 8,587万円(総務費)

**地域防災無線整備** 4億6,889万円(消防費)

災害時の通信手段を確保する目的に、中継局無線鉄塔や無線設備の工事、携帯・車載無線機などを整備しました。

**津波防災まちづくり** 4,742万円(消防費)

津波避難タワー建設に伴う計画を策定し、各地区の整備箇所を選定しました。事業化が決定した防災公園では、測量設計や地質調査業務を実施し、防災マップの作成にも着手しました。

**避難路整備** 1億2,485万円(土木費)

市道大原朝比奈線に避難路としての歩道整備を行いました。また、市道須々木49号線および市道須々木大溝線は測量設計業務を行いました。

**消防施設整備** 4,271万円(消防費)

消防団の消防自動車購入や詰所修繕、ホースタワー建設工事などを行い、施設・装備の充実を図りました。



▲安全に津波避難できる避難路



▲災害から地域を守るために

## 心も体も健康で過ごせるまち

**榛原総合病院負担金** 9億7,154万円(衛生費)

**障がい者自立支援** 8億2,143万円(民生費)

**生活保護** 2億1,030万円(民生費)

**複合型がん検診の実施** 3,074万円(衛生費)

胃、肺、大腸のがん検診を同時に行うことにより、利便性や受診率の向上、疾病の早期発見、早期治療を推進しました。

**予防接種** 1億116万円(衛生費)

ヒブ・小児肺炎球菌・子宮頸がんワクチンが定期予防接種になったことで、接種間隔や回数などが複雑化したため、説明会を行いました。25年4月からは、妊婦や妊娠を希望する女性に対し、風しんや麻しん風しん混合のワクチン接種費の助成を開始しました。



▲病気を予防しよう



▲いつまでも元気でいきいきと

## 活力あるまちづくり

**防霜ファン整備** 1億314万円(農林水産業費)

**中小企業を応援** 112万円(商工費)

**茶業振興** 496万円(農林水産業費)

特産品ブランドである「静岡牧之原茶」の知名度向上や販路拡大、消費拡大を図りました。25年5月には、静岡の茶草場農法が世界農業遺産に認定されました。

**生活・幹線道路整備** 3億3,251万円(土木費)

市道老丁田北線・大倉老丁田線新設、市道東萩間西原線改良、市道八ツ枝毛ケ谷線改良、市道坂部細江線改良、市道須々木56号線新設、その他市道新設改良3箇所を整備しました。



▲霜の被害からお茶を守る



▲産業を通して地域の活性化を図る